

祝日には国旗を掲げよう



第177号

昭和41年6月25日 発行所 宮崎県東郷村役場

# 牧水記念館建設について

本村に若山牧水顕彰会が結成されたのは、昭和二十六年の秋でした。それから何となく生家を保存したいものだ、心ある人々の間で話の種にのぼっていました。幸い昨年八月生家を譲り受けることが出来ました。その結果この牧水文化の進展に寄与しては、名譽会長に黒木知事、総経理に八幡川二〇〇〇万円は村費の補助をいただき、残り六〇〇万円を県下は勿論全国に協力を願いました。ところが各方面から、宮崎県の産んだ偉大な日本の歌人の記念館であるから、この際完全なものを建設してはどうかとの強い要望が出てまいり、六月一日には東京からわざわざ牧水先生研究者の第一人者である歌人、大悟法利雄氏、作家の野田宇太郎氏、それに牧水先生の御長男で建築家の旅人さんがお出下りなさいまして、宮崎市と延岡市で講演会を開き、また黒木村長や小野弘さん、宮交岩切省太郎会長にもお出下りなさいました。本村にもお出下りなさいまして二時間あまり村会議員、公民館長、区長、教育委員、民主団体の方々と懇談され、坪谷の生家も訪ねられ、記念館建設の位置も検討されたのでした。

「東京ではすでに「牧水記念館建設後援会」が結成されまして、金や事業推進の態勢が整えられています。こうした動きにこたえて前にたてました総工費八〇〇万円は大中に増額されました。総経理一、五〇〇万円とになりました。その支途の主なものは一、〇〇〇万円生家買取並補修費、二〇〇〇万円資料、蒐集費、一〇〇〇万円事務費その他、二〇〇〇万円を以て、記念館建設の着工は十月で来る三月には完工の予定をたてています。工の予定をたてては、工費の大半は七月には竣工する事になっていきます。牧水先生と郷土を同じくします東郷村民にとりましては、まことに榮譽ある文化事業であります。この事業の責務の重大さを痛感させられています。この事業が村民各位の絶大な御協力によりまして一日も早く完成いたしますよう祈念してやみません。

六月二日に宮崎日々新聞社の主催で大悟法、野田、若山三氏を招いて「牧水記念館建設と意義」について座談会が開かれました。その際大悟法さんは、「私は牧水記念館建設の相談を受けたときから夢をいだいていました。造るからには資料などの内容の充実が大切です。自然を愛する牧水の人から作風にふさわしい「牧水公園」的な環境をじゅうぶん取り入れた日本の新しい文化センターのようなものにしたいたい。東京では文壇人や文化人など関係者が二回ほど話し合いを行な

のために、日本は東郷村のために、全文壇の意思であることを県民に認識してもらいたい。」

若山旅人さんは「坪谷は私のふるさとです。三十年間建築の仕事にたずさわっていましたが、記念館建設の相談を受けたとき、もともとこんな場合、遺族は引き込んでおるべきなんです。私は愛するふるさとと父のために役を立つならばと遺族として頭を悩ましておりました。坪谷の自然の魅力は東郷村の坪谷にあるというので、私は宮崎へ来て坪谷に行かないと落ち着きません。あの尾鈴の背と坪谷の清流は、自分の心にしみとおるものがあります。日本各地を回ってもこんな歌人とふるさととの自然美がびびりたつたところは見当らなりました。記念館建設は当然よろこばざるを得ないです。坪谷は自然がそこに造る場所を与えてくれたこと、最初計画は破算になりました。まだ具体的な案はできていませんが、私の考えでは生家の背後の丘の上に記念館を建てればすばらしいものになると思います。目の下に庭園や、坪谷川が見え、つまり牧水が愛した自然が、わかる人にはそのまま支持されたのは、はじめてのことです。東郷村は日本

性といったものは、いろいろな面にひろがっていく力を持つています。新しさを自然の力は東郷村の坪谷にあるというので、私は宮崎へ来て坪谷に行かないと落ち着きません。あの尾鈴の背と坪谷の清流は、自分の心にしみとおるものがあります。日本各地を回ってもこんな歌人とふるさととの自然美がびびりたつたところは見当らなりました。記念館建設は当然よろこばざるを得ないです。坪谷は自然がそこに造る場所を与えてくれたこと、最初計画は破算になりました。まだ具体的な案はできていませんが、私の考えでは生家の背後の丘の上に記念館を建てればすばらしいものになると思います。目の下に庭園や、坪谷川が見え、つまり牧水が愛した自然が、わかる人にはそのまま支持されたのは、はじめてのことです。東郷村は日本

「記念館の本格的なものとしては、私も関係して二十二年に建てられた島崎藤村の記念館がはじめてだと思います。牧水は歌人ではあるけれど、紀行文でも欠けておらず、牧水の詩を習ったこと、いまにそのころのことが忘れられませんが、牧水には近代性魅力があります。上田敏の「海潮音」に匹敵するような、日本の短歌のなかに、新しい近代性を導き入れた歌人です。あのほろぼろしたような繊細な柔軟性、象徴

「記念館の本格的なものとしては、私も関係して二十二年に建てられた島崎藤村の記念館がはじめてだと思います。牧水は歌人ではあるけれど、紀行文でも欠けておらず、牧水の詩を習ったこと、いまにそのころのことが忘れられませんが、牧水には近代性魅力があります。上田敏の「海潮音」に匹敵するような、日本の短歌のなかに、新しい近代性を導き入れた歌人です。あのほろぼろしたような繊細な柔軟性、象徴

「記念館の本格的なものとしては、私も関係して二十二年に建てられた島崎藤村の記念館がはじめてだと思います。牧水は歌人ではあるけれど、紀行文でも欠けておらず、牧水の詩を習ったこと、いまにそのころのことが忘れられませんが、牧水には近代性魅力があります。上田敏の「海潮音」に匹敵するような、日本の短歌のなかに、新しい近代性を導き入れた歌人です。あのほろぼろしたような繊細な柔軟性、象徴

「記念館の本格的なものとしては、私も関係して二十二年に建てられた島崎藤村の記念館がはじめてだと思います。牧水は歌人ではあるけれど、紀行文でも欠けておらず、牧水の詩を習ったこと、いまにそのころのことが忘れられませんが、牧水には近代性魅力があります。上田敏の「海潮音」に匹敵するような、日本の短歌のなかに、新しい近代性を導き入れた歌人です。あのほろぼろしたような繊細な柔軟性、象徴



6月2日宮交の岩切会長の案内で日南海岸視察寸景 右から①若山旅人さん ②大悟法利雄さん ③野田宇太郎さん ④黒木村長 ⑤岩切会長

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

## 梅雨

うす日さす梅雨の晴間に鳴く虫の澄みぬるこえは庭に起れり

雨雲の今日の低きに庭さきの草むらあをみ夏虫ぞ鳴く一重咲ダリヤの花のくれなひの澄みぬるかなや梅雨ばれの風に

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

## 農業による事故をなくそう

五月十五日より六月十四日の一ヶ月の間全国的に農薬散布防止運動が展開されましたが、これは、最近農薬の使用の増加にもなつて農業による害を受ける人がますますふえるのを防ぐこととするものであります。

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

## つゆのころの心得

つゆのころは食生活

つゆのころは食生活

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

## 健康メモ

食べ物の色と味

食べ物の色と味

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

## 点痛

若竹にしとしと五月雨が

若竹にしとしと五月雨が

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

## 家のうち・そと

戸だな、押入れが、かび

戸だな、押入れが、かび

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

「耳川の溪谷がそこになかったら牧水は生まれて

